

# こんなところにも『DX』! ~より便利に進化! あなたの暮らしに身近なDX~

県では、みなさんの生活やしごと・産業に深い関係のあるさまざまな分野でも、DX推進に関する取組を進めています。



農業



## ブランド米生産支援システム「青天ナビ」で「<sup>せい てん</sup>青天の霹靂<sup>へき れき</sup>」の高品質・安定生産!

県では、「青天の霹靂」の高品質化と収量安定のため、水田1枚ごとの収穫時期や施肥管理を自動でアドバイスする、ブランド米生産支援システム「青天ナビ」を生産指導に活用しています。

### 「青天ナビ」の特徴

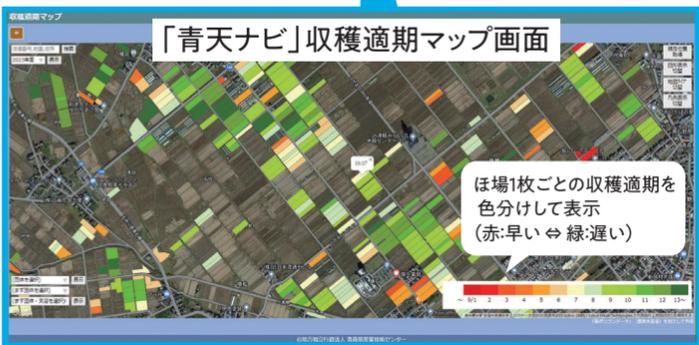
●人工衛星を活用して水田1枚ごとの情報を解析し、マップ化

利用できる  
データマップ

- ・収穫適期(高品質米の生産)
- ・玄米タンパク質含有率(おいしさの指標)
- ・収量
- ・土壌の肥沃度(おいしい米を生産するためのほ場選定)

●前年の玄米タンパク質含有率と収量から、その水田に合った施肥管理を自動でアドバイス

●スマートフォンやタブレットで利用でき、現地ほ場でも閲覧可能



詳しくは  
[青天ナビ 青森](#) 検索  
 農産園芸課 ☎017-734-9480



生産者の声

「青天ナビ」の「収穫適期マップ」は、水田1枚ごとの収穫適期が一目でわかるので、いつ頃、どの順番で刈り取りを行うかの判断に活用しています。刈り遅れることなく、高品質米を生産するのに役立っています!

いちのへりょうじ  
 一戸 亮二さん(弘前市在住)



建設  
土木

## ドローンなどの導入で省力化! ~次元を越えて、インフラ(防災)を深化させる~

最新のデジタル技術を活用し、ICT(情報通信技術)施工の拡大による建設現場の生産性向上や、災害現場における情報共有の効率化・迅速化に向け、インフラ(防災)分野のDXを推進する取組を進めています。

### 取組1 インフラ(防災)分野のドローン・3Dデータの活用

#### ①県職員向けドローン測量実習による技術力向上・資格の取得支援



地上からでは被害状況の把握が限定的だった

ドローン活用  
 県職員自ら操縦



災害時の迅速な状況把握  
 上空からの被害範囲の把握が可能に!

ライブ配信



平時や点検などの維持管理で活用  
 既存施設の3D点群データなどを作成

3Dデータ化



県職員を対象に、ドローンの基礎知識や操作技術などの向上を図る測量実習を実施

#### ②防災情報共有システムの機能強化



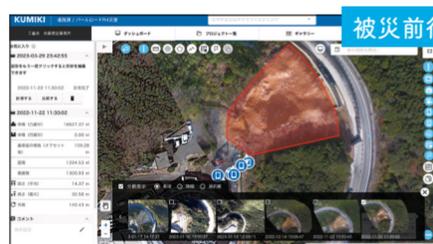
災害情報をリアルタイムで効率よく共有  
 情報共有システムの活用により  
 県庁×出先機関間で連携、現場状況の見える化



被災時の情報共有はホワイトボードに付箋を貼り被害状況を記録

情報共有の際に連携ミスが発生しやすい

#### ③インフラ分野の3Dデータ活用



被災前後の比較で変状を確認

3D解析ソフトによる点群データ作成

3次元データ格納プラットフォームへ集約・保管

### 取組2 県内コンサルタントの技術力向上事業

県内コンサルタントの技術者向けにインフラDX講習会を開催するなど、まだDXの導入に踏み切っていない企業への3次元対応を後押しし、ICT施工の基礎となる3次元測量・設計の普及拡大を図ります。



詳しくは [県庁HP](#)  
[整備企画課 DX](#) 検索  
 整備企画課  
 ☎017-734-9645